

“こころ”と“ことば”をどう考えるか
～外国人児童生徒を支える就学前からの必要な視点～

○日時：2011年11月3日（文化の日）第Ⅰ部：13:00～14:30

第Ⅱ部：15:00～16:30（受付 12:30～）

○場所：愛知教育大学 本部棟3階 第5会議室

○定員：70名

○参加費：無料

○スケジュール：

（第Ⅰ部）講演：「ことばと心の育ち」

講 師：飯高 京子（いたか きょうこ）先生

東京学芸大学名誉教授、上智大学国際言語情報研究所名誉所員、国際友和会理事、日本友和会書記長、特定非営利法人木馬の会監事。東京学芸大学附属特殊教育研究施設時代には、地域の発達障害児と母親のための勉強会を開き、彼らを支援する学生や内地留学の特別支援学級担任と共に、地域での保育園と連携して実践研究を続けた。その間、科学研究費を受け、言語発達の基礎的な追跡調査を行い、母子関係の形成がことばの育ちに大切であることを学ぶ。現場の先生達の要請を受け、特別支援学級児童のコミュニケーション能力改善を目標に、低学年からの追跡的評価と指導を行い、ことばの発達は全体発達の一部であることを確認。定年までの10年間は上智大学大学院で言語障害児・者の指導者養成を目指し、1997年の言語聴覚士法制定に関わる。現在はかつての発達障害児を受け入れるNPO法人木馬の会作業所支援と、外国人労働者子女の言語発達支援、日本国憲法九条を守り脱原発を推し進める運動などに取り組む。

（第Ⅱ部）講演：「日本語を学ぶことが先なのか」

講 師：竹内 淑子（たけうち よしこ）先生

1982年 東浦町立緒川小学校に新任として着任。
1982年 同町卯ノ里小学校へ転任。1999年から研究主任。
2002年 同町石浜西小学校へ転任。同時に研究主任。
2007年 ○○学習をスタート。
2009年 「多文化共生の学校を創る」黎明書房 プロット・執筆

○申し込み： [愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム](#)のHP上の申し込みフォーム

または下記問合せのFAX（もしくはE-mail）にてお申し込みください。

- ①氏名
- ②所属（学校名・団体名・職業等）
- ③住所
- ④連絡先（電話番号・e-mail アドレス等）

・タイトルに「講演会申し込み」とお書き添えください。

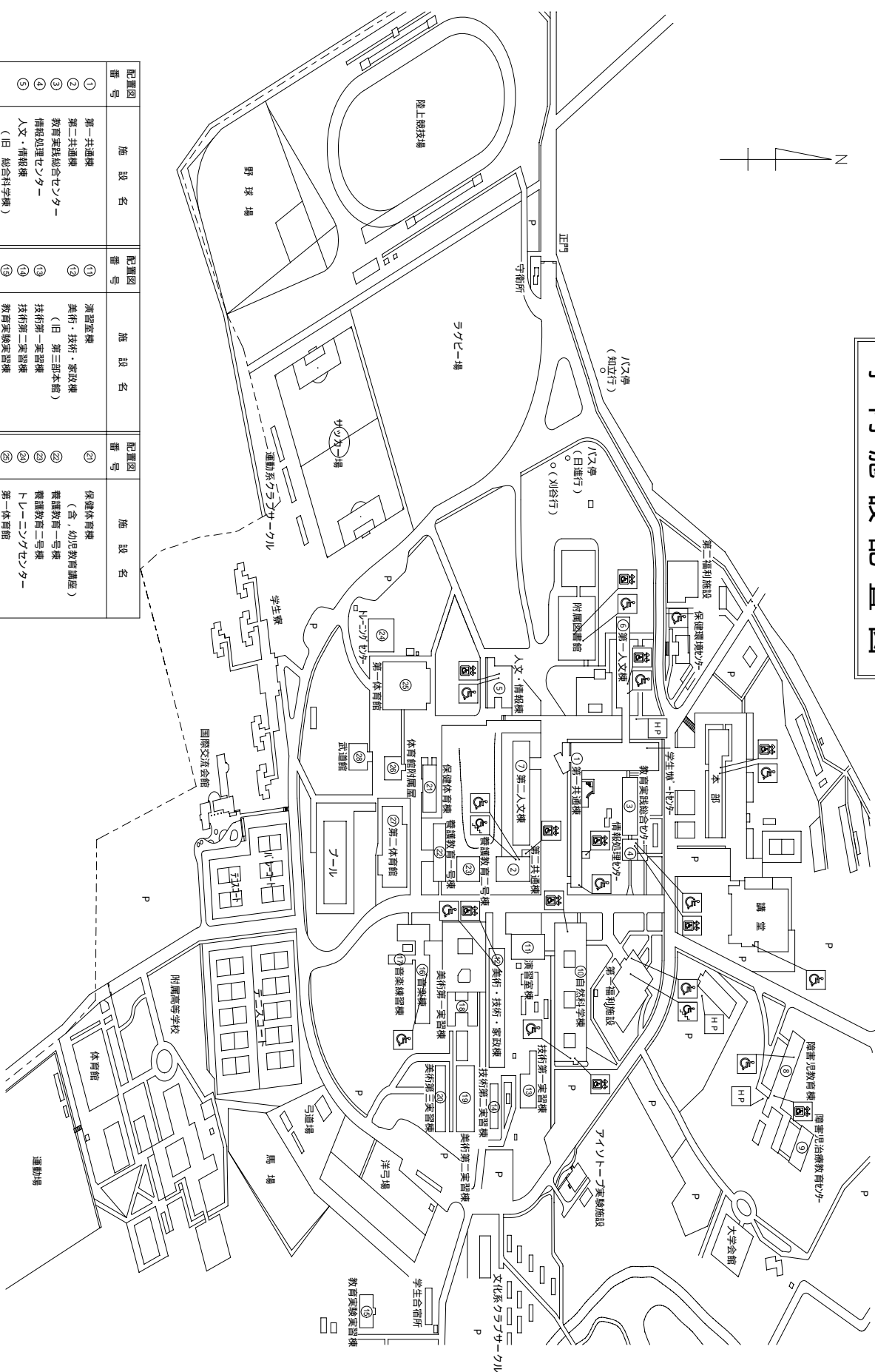
【申し込みのみで受け付け完了と致します。返信は致しませんのでご了承ください。】

○締め切り：10月23日（日）

○問合せ先：

愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム
〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
TEL/FAX (0566)26-2219 (TEL/12:30~17:30)
E-mail: gendaigp@uecc.aichi-edu.ac.jp
HP: <http://www.resource-room.aichi-edu.ac.jp/>

学内施設配置図



配置図番号	施設名	配置図番号	施設名	配置図番号	施設名
①	第一共通通練	①①	演習室棟	②①	保健体育棟 (含、幼児教育講座)
②	第二共通通練	①②	美術・技術・家政棟 (旧 第三部本館)	②②	看護教育一号楼
③	教育実践総合センター	①③	技術第一実習棟	②②	看護教育二号楼
④	情報処理センター	①④	技術第二実習棟	②②	トレーニンングセンター
⑤	人文・情報棟	①⑤	教育実践実習棟	②②	第一体育館
⑥	(旧 総合科学棟)	①⑥	音楽棟	②②	体育館附属屋
⑦	第二人文棟	①⑦	音楽練習棟	②②	第二体育館
⑧	第二人文棟	①⑧	美術第一実習棟	②②	武道館
⑨	障害児教育棟	①⑨	美術第二実習棟	②②	武道館
⑩	障害児総合教育センター	①⑩	美術第三実習棟	②②	武道館
⑪	自然科学棟	①⑪	総合造形実習棟 (旧 総合造形実習棟)	②②	武道館

記号	内容
♿	身障者便所
♿	身障者用エレベーター
♿	障害昇降機
H.P.	身障者用駐車場